

株主の皆様へ

nippn

第198期

# 期末のご報告

2021年4月1日から2022年3月31日まで



## CONTENTS

社長インタビュー	1
トピックス	5
商品紹介	7
連結決算の状況	9
会社概要・株式の状況	10
裏表紙：● 定時株主総会 決議ご通知	
● 株主のしおり	

証券コード：2001

## 株主の皆様へ

「第198期 期末のご報告」をお届けするにあたり、株主の皆様の平素のご支援に対し厚く御礼申し上げます。

昨年7月に発生しましたサイバー攻撃によるシステム障害においては株主の皆様にご迷惑とご心配をおかけいたしました。心より深くお詫び申し上げます。当社では、再発防止に向け、様々なセキュリティ対策を強化したうえで、本年1月には主要な基幹システムの復旧を完了させ、2022年5月13日に「2021年度連結決算」を発表しました。2021年度の事業の概要と今後の見通しについてご説明いたします。



代表取締役社長  
前鶴俊哉

## 社長インタビュー

# 2021年度の事業の概要と今後の展望

「株式会社ニッポン」として、変化を先取りした新しい時代の「食」を創造する

**Q** この1年の事業環境を振り返ってみていかがでしたか？

**A** 2021年度の国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で、ワクチン接種の普及により経済活動正常化の動きが見られましたが、新たな変異株の発生により感染が再拡大するなど依然として先行き不透明な状況が続いております。食品業界においても、デリバリーサービスの伸長や

内食の増加といった巣ごもり需要の拡大など、個人消費が大きく変化しており、また、原材料価格高騰の影響が懸念されております。そのような中、当社グループは、コスト削減や販売の強化を軸に既存事業をより強固なものとするため、今後成長が見込まれる分野に対しては積極的な投資を行い、未曾有の事業環境下においても柔軟に取り組むことで事業基盤強化に努めてまいりました。

**Q** 2021年度の業績について概要をお聞かせください。

**A** 2021年度の連結業績は、売上高は3,213億1千7百万円(前期比111.4%)、営業利益は112億8千2百万円(同108.8%)、経常利益は142億7千万円(同112.7%)、親会社株主に帰属する当期純利益は93億2千7百万円(同108.0%)となりました。前年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けた業務用食品や中食事業の需要回復と、内食需要のさらなる取り込みによって冷食事業が伸長し、年度後半は原材料価格の高騰の影響や戦略的な販促・広告費の投入によるコスト増があったものの、通期で増収増益となりました。期末配当につきましては、これまでご支援いただきました株主の皆様にご感謝の意を表すため、1株当たり

2円を加えて20円(年間配当金1株当たり38円)とさせていただきます。

**Q** 今回発表した将来に向けた長期ビジョンの概要をお聞かせください。

**A** 当社は、昨年創立125年を迎え、社名を「株式会社ニッポン」へ変更し、あらたなスタートを切りました。創立以来、製粉、食品を基盤事業として冷凍食品、中食、海外、ヘルスケアなどグループ会社を含めて事業の多角化を進めてまいりましたが、当社グループを取り巻く事業環境は社名変更後も急激に変化していることから、変化を的確に捉えたビジネスモデルを構築し、持続的成長を実現するため、「人々のウェルビーイング(幸せ・健康・笑顔)」を追求し、持続可能な社会の実現に貢献します」と

2021年度 連結決算ハイライト (2021年4月1日～2022年3月31日)			
売上高	3,213億円 (前期比 111.4%)	1株当たり 当期純利益	121.59円
営業利益	112億円 (前期比 108.8%)	総資産	3,258億円
経常利益	142億円 (前期比 112.7%)	純資産	1,786億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	93億円 (前期比 108.0%)	1株当たり純資産	2,268.30円

2022年度 通期予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)	
売上高	3,550億円 (前期比 110.5%)
営業利益	101億円 (前期比 89.5%)
経常利益	122億円 (前期比 85.5%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	83億円 (前期比 89.0%)

いう新たな経営理念を策定いたしました。あわせて、当社グループは、この経営理念に基づき、お客様や株主様をはじめとした各ステークホルダーとともに、未来につながる価値を創出することを経営方針として定めました。

そのような中、名実ともに総合食品企業としての地位を確立するため、売上高5,000億円・営業利益250億円の企業規模まで成長することを目指しておりますが、そのためのマイルストーンとして当社グループは収益基盤を強化しながら、既存事業をさらに成長させるとともにインオーガニック成長として新規事業やM&Aなどを積極的に展開することで、5年後の2026年度には売上高4,000億円、営業利益150億円の達成を目標といたしました。

**Q 今後の事業戦略の方向性についてお聞かせください。**

**A** 製粉、食品素材などの基盤事業、冷凍食品、中食などの成長事業がそれぞれ安定的かつ持続的な利益成長を遂げていくことに加え、スピーディーな海外展開や新規素材・新機軸の商品開発、EC事業などの新たな販売チャネルへの参入などによって価値創造並びに新たな事業創出を行い、当社の企業価値向上を図っていきたくと考えております。

**Q サステナビリティへの取り組みについてお聞かせください。**

**A** 当社は、様々な場面で当社製品が愛用され、世の中のすべての人々に幸せ、笑顔、そして心身の健康をお届けする企業を目指しております。

また、社員一人ひとりが創業以来のパイオニア精神を忘れず、創造性・多様性を育み、何事にも積極的に取り組めるような職場環境を構築し、新たな事業領域にチャレンジしてまいります。SDGsの概念に沿った企業活動を通じ、気候変動などの環境問題、食資源の有効活用、人口問題、健康寿命の延伸など社会的課題に真摯に向き合いながら、持続的な社会の実現に貢献してまいります。

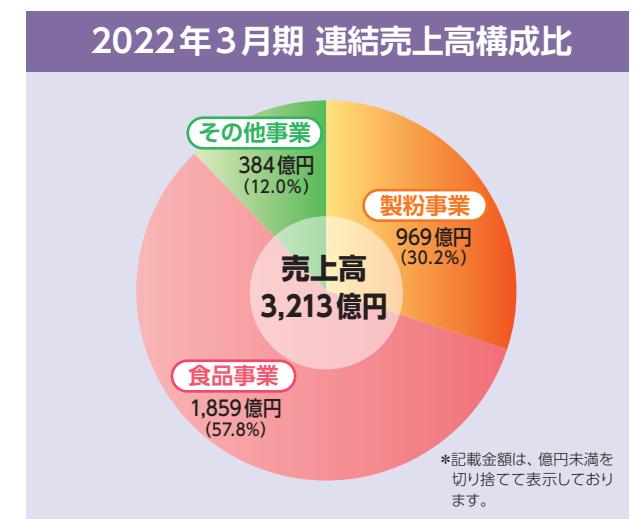
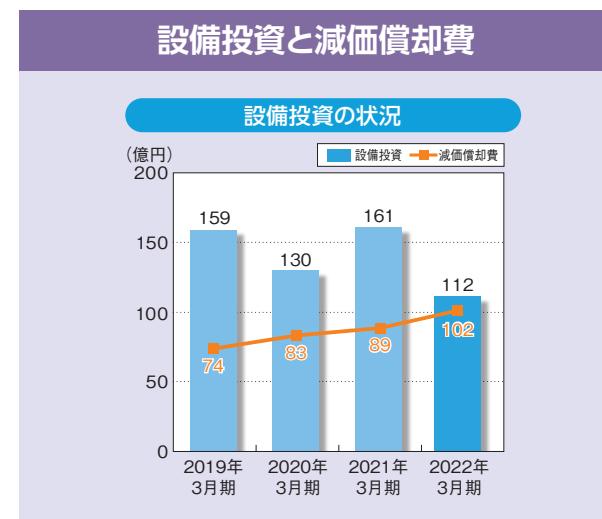
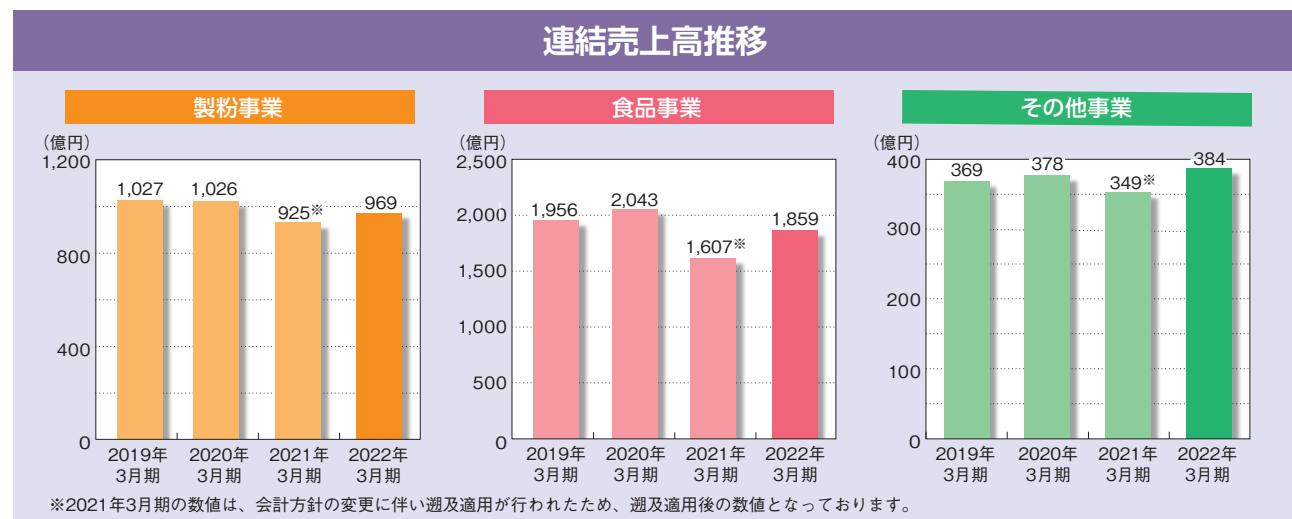
**Q 2022年度の業績予想についてお聞かせください。**

**A** 今後の国内経済は、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大の懸念が完全には払拭できない状況が続くと見られております。また、原油価格および原材料価格の高騰に加え、ロシア・ウクライナ

情勢の推移等もあり世界情勢は予断を許さない不透明な状況にあります。食品業界においては、消費者の多様なライフスタイルに対応した商品ニーズはますます高まっていくことが予測され、消費行動の目まぐるしい変化が今後も起こってくるものと思われまます。2023年3月期の連結業績は、売上高3,550億円、営業利益101億円、経常利益122億円、親会社株主に帰属する当期純利益83億円を見込んでおります。

**Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。**

**A** 当社は、今後もグループの強みを活かしながら成長分野への経営資源投下によって、グローバルな事業拡大や新たな事業創出を行い、成長を実現させていきます。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



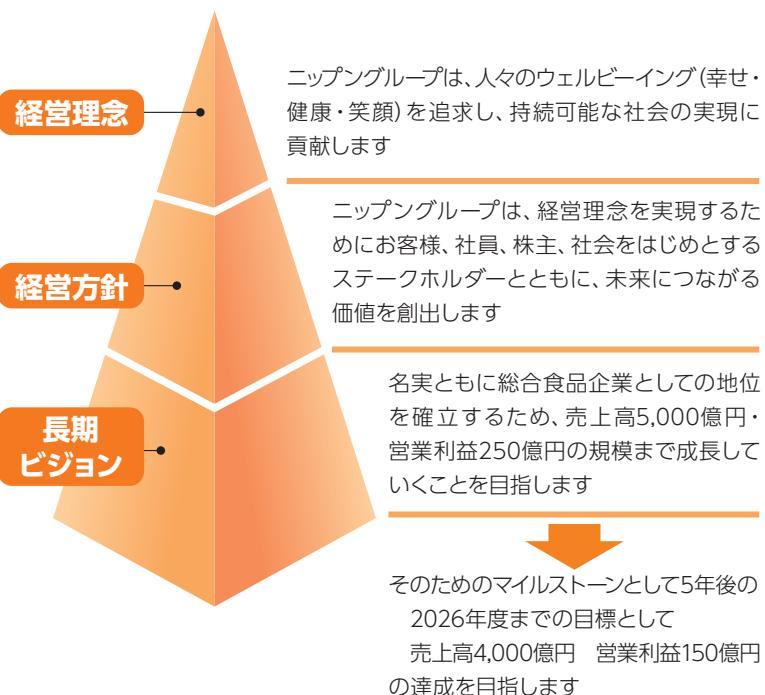
## 新たに、ニッパングループ「経営理念」「経営方針」を策定

### 株式会社ニッパンは、「経営理念」「経営方針」を新たに策定し、合わせて将来に向けた長期ビジョンを策定いたしました。

当社グループは、2021年に創立125年を迎え、社名を「株式会社ニッパン」へと変更いたしました。創立以来の製粉事業に食品事業を加えて基盤事業とし、冷凍食品や中食など事業の多角化を進めてまいりましたが、今後はヘルスケアや大豆・野菜事業などへも注力し、さらに新規事業も加えて事業領域を拡げ持続的成長を図ってまいります。この新しい「ニッパングループ」のスタートにあわせて、このたび新経営理念を定めました。

#### ●新経営理念

人々のウェルビーイング(幸せ・健康・笑顔)を追求し、持続可能な社会の実現に貢献します



当社を取り巻く環境は目まぐるしく変化しておりますが、創業以来の技術と新しいデジタルトランスフォーメーション(DX)の融合を図り、イノベーションを起こすことで、変化を先取りした新しい時代の「食」を創造していきたいと考えております。さまざまな場面で当社製品が愛用され、世の中のすべての人々に幸せ、笑顔、そして心身の健康をお届けする企業を目指します。

社内においては、社員一人ひとりが創業以来のパイオニア精神を忘れず、創造性・多様性を育み、何事にも積極的に取り組めるような職場環境を構築し、新たな事業領域にチャレンジしてまいります。

このような企業活動を通じて、気候変動などの環境問題、食資源の有効活用(生物多様性の保全)、人口問題、健康寿命の延伸などの社会的課題に対して真摯に向き合い、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

「経営理念」に基づき、「経営方針」を策定いたしました。

ニッパングループは、人々のウェルビーイング(幸せ・健康・笑顔)を追求し、持続可能な社会の実現に貢献するために、ステークホルダーとともに、未来につながる価値を創出します。

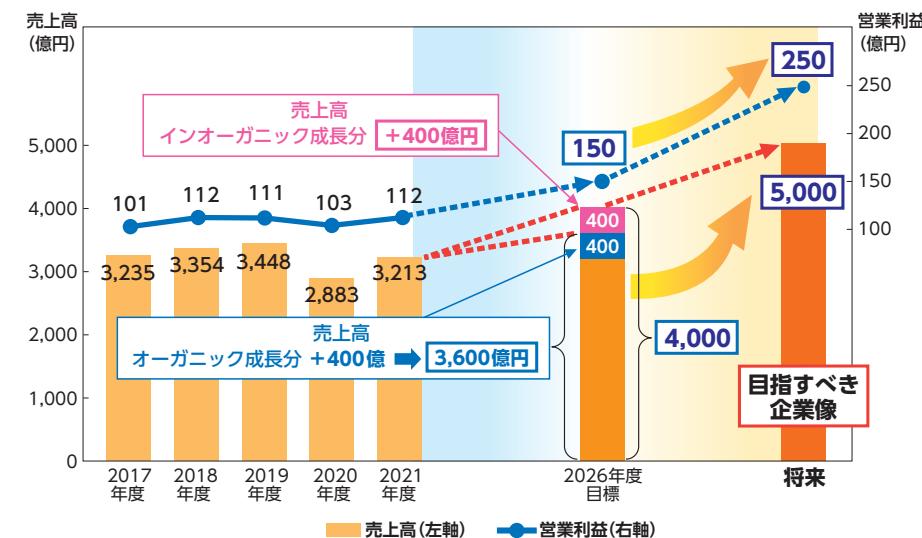
#### ●経営方針

お客様とともに	すべての人々に「食」を通じて健康と笑顔を提供します。創業以来の技術力とDXを駆使し、変化を先取りした商品・サービスを開発することで新しい時代の「食」を創造します。
社員とともに	フェアでオープンな企業文化のもと、熱意と愛情を持って社会課題の解決に取り組みます。
株主とともに	透明性の高い情報開示と株主との対話を通じて、企業価値の向上に取り組みます。
社会とともに	ESG経営を実践するレジリエント企業として、日本と世界の現実に目を向け、国内外のパートナーとともに「より良い社会」「より良い地球」の実現に力を注ぎます。

#### ●長期ビジョン ニッパングループが目指す成長のイメージ

名実ともに総合食品企業としての地位を確立するため、売上高5,000億円・営業利益250億円の規模まで成長する事を目指します。

そのためのマイルストーンとして、収益基盤を強化しながらオーガニック成長で売上を積み上げるとともに、インオーガニックで成長の底上げを進め、5年後の2026年までに、売上高4,000億円・営業利益150億円の達成を目標とします。



# 2022年 春夏新商品のご紹介

もっと便利に、もっと使いやすく！お客様のニーズに寄り添う新商品をご紹介します。

## 加工食品

### ◆ニッポン 華さくり天ぷら粉



450g



200g



ゴーヤととうもろこしのかき揚げ

「お店のような食感に揚げられない」「揚げたてから時間が経つとサクッとしない」というお客様の声にお応えし、揚げたても、揚げた1時間後も、サクッとおいしい天ぷら粉が登場しました。深さ2cmの油で揚げられるので、後片付けもラクラクです。450gと200g、2つのサイズ展開で、使用量や使用頻度に合わせてお選びいただけます。

### ◆オーマイ 自然の恵み 全粒粉サラダマカロニ



ツナの和風マカロニサラダ

“人にも地球にもうれしい”「自然の恵み」シリーズに、小麦の風味豊かで体にもうれしいマカロニが仲間入りしました。デュラム小麦全粒粉を100%使用したマカロニで、豊富な食物繊維と3つのミネラル(鉄・マグネシウム・マンガン)を摂取することができます。パッケージは環境に配慮し、FSC認証紙と植物由来成分を使ったインキを使用しています。



#### 開発者の声

開発本部  
企画開発部  
竹下かおり

お客様のニーズを改めてリサーチした結果、すぐにしなっとなる経時変化と、そもその出来栄に不満を抱えていることがわかりました。調理した方もおいしく食べられるよう「サクッと食感が1時間続く」をテーマに、サクッと軽い食感、パッと華さく衣に仕上げました。お客様からも高評価をいただいております。絶対の自信を持っておすすめする天ぷら粉です！ぜひお試しください。

## 健康食品

機能性表示食品 届出番号G323

### ◆うるつや ピュアホワイト



肌を乾燥から守る機能(バリア機能)を高めることが報告されている「米由来グルコシルセラミド」と、紫外線刺激から肌を保護するのに助ける機能が報告されている「アスタキサンチン」を配合したサプリメントが新登場！うるおいと紫外線刺激、それぞれの必要性に合うような、通年の肌ケアにお薦めできるサプリメントです。

## 冷凍食品

### ◆オーマイプレミアム 彩々野菜 トマトとにんにく



「オーマイプレミアム」シリーズに、濃厚なトマトソース、3種のにんにく(おろしにんにく、ガーリックオイル、フライドガーリック)を効かせたパンチのある味わいの「トマトとにんにく」が新登場しました。ベーコンとたっぷり4種の野菜(揚げなす、ブロッコリー、キャベツ、黄ピーマン)で彩りよく仕上げた冷凍パスタです。



#### 開発者の声

営業企画室  
(開発当時:  
開発本部食品開発部)  
重松俊祐

某有名チェーン店の味をベンチマークに、彩り豊かな野菜たっぷりの商品に仕上げました。完熟トマトのうまみとチーズのコク、にんにくの香りで食欲をそそる味わいです。ソースにこだわり、煮込み感や香ばしいにんにくの風味、それらを含めた全体のバランスを調整して何度も試作を繰り返し、お店の味を目指しました。ご自宅でお店の味をぜひお楽しみください！

### ◆ニッポン いまどきごはん タコライス



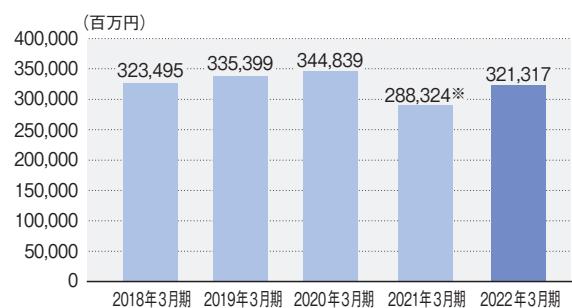
ご家庭でトレンドメニューを気軽に楽しめる「いまどきごはん」シリーズに、トマトのうまみが濃厚なタコミートと、ピリ辛サルサソースの相性が抜群の「タコライス」が登場しました。ブロッコリー、キャベツ、コーンの3種の野菜を使用。CHEDDARチーズをたっぷりトッピングし、見た目も彩りも華やかな一品です。

## 連結決算の状況

### ■総資産／純資産



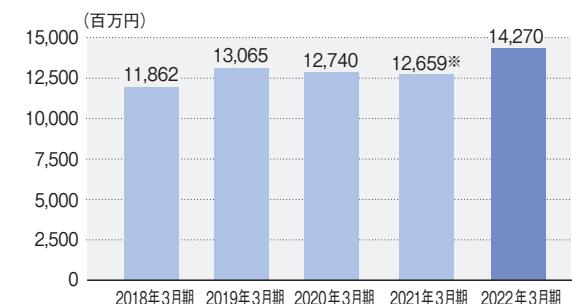
### ■売上高



### ■自己資本比率



### ■経常利益



### ■キャッシュ・フロー



### ■親会社株主に帰属する当期純利益／1株当たり当期純利益



\*「税効果会計に係る会計基準」の一部改正等を2019年3月期から適用しており、前年度(2018年3月期)の総資産、自己資本比率の数値を遡及修正しております。

\*\*2021年3月期の各数値は、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、遡及適用後の数値となっております。

(2022年3月31日現在)

## 会社概要

社名	株式会社ニッポン
本店所在地	東京都千代田区麹町四丁目8番地
設立	1896年(明治29年)12月
資本金	122.4億円
従業員	1,137名[単体]
主な事業内容	小麦粉およびプレミックス、パスタ、冷凍食品など二次加工食品の製造販売、中食・総菜事業、ペットフード事業、ヘルスクエア事業、バイオ関連事業など
事業所	本店(東京)、8支店(4月1日より9支店)、11工場、研究所(厚木)

## 主なグループ会社

松屋製粉株式会社	ニッポン商事株式会社
オーマイ株式会社	日本リッチ株式会社
株式会社ファーストフーズ	オーケー食品工業株式会社
株式会社ナガノトモ	エヌビーエフジャパン株式会社
ニッポンドーナツ株式会社	ニッポンエンジニアリング株式会社
海外(米国、中国、タイ、インドネシア)	

(2022年3月31日現在)

## 株式の状況

●発行可能株式総数	300,000,000株
●発行済株式総数	78,824,009株
●株主数	24,338名
●大株主の状況	

大株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,516	11.1
ニッポン取引先持株会	4,535	5.9
大樹生命保険株式会社	3,497	4.5
三井物産株式会社	3,349	4.4
株式会社ダスキン	2,510	3.3
伊藤忠商事株式会社	2,250	2.9
株式会社三井住友銀行	2,246	2.9
農林中央金庫	2,060	2.7
三井住友海上火災保険株式会社	2,004	2.6
日本カストディ銀行株式会社(信託口)	1,757	2.3

(注)持株比率は、自己株式1,871千株を控除して計算しております。

(2022年6月29日現在)

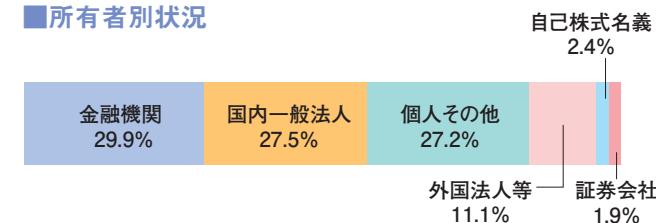
## 役員

代表取締役社長	社長執行役員	前鶴 俊哉	上席執行役員	東野 現
代表取締役	副社長執行役員	堀内 俊文	執行役員	大楠 秀樹
代表取締役	専務執行役員	大内 淳雄	執行役員	小浦 浩司
取締役	常務執行役員	青沼 孝明	執行役員	高橋 幹尚
取締役	常務執行役員	木村 昭子	執行役員	松本 博之
取締役	常務執行役員	香川 敬三	執行役員	副島 久靖
取締役	常務執行役員	田中 康紀	執行役員	大神田 茂幸
取締役	常務執行役員	木村 富雄	執行役員	林 逸郎
取締役	常務執行役員	川崎 裕章	執行役員	大田尾 亨
取締役(社外取締役)		川俣 尚高	執行役員	阿部 直樹
取締役(社外取締役)		熊谷 日登美	執行役員	是松 雅彦
【監査等委員である取締役】				
取締役(社外取締役)		奥山 章雄		
取締役(社外取締役)		吉田 和彦		
取締役(社外取締役)		成瀬 健太郎		
取締役		玉川 越三		

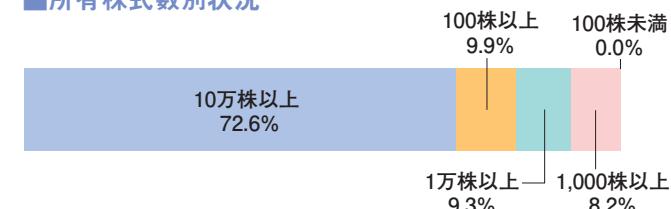
(2022年3月31日現在)

## 株式の分布状況

### ■所有者別状況



### ■所有株式数別状況



## 第198回定時株主総会 決議ご通知

2022年6月29日開催の当社第198回定時株主総会において、下記のとおり報告及び決議されましたので、ご通知申し上げます。

### 記

#### 報告事項

1. 第198期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第198期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)計算書類報告の件  
本件は上記の各内容を報告いたしました。

#### 決議事項

- 第1号議案** 剰余金処分の件  
本件は原案のとおり承認可決され、期末配当金は1株につき20円と決定いたしました。
- 第2号議案** 定款一部変更の件  
本件は原案のとおり承認可決されました。
- 第3号議案** 取締役(監査等委員である取締役を除く。)11名選任の件  
本件は原案のとおり承認可決され、取締役(監査等委員である取締役を除く。)に前鶴俊哉、堀内俊文、大内淳雄、青沼孝明、木村昭子、香川敬三、田中康紀、川俣尚高の8氏が再選、新たに木村富雄、川崎裕章、熊谷日登美の3氏が選任され、それぞれ就任いたしました。
- 第4号議案** 監査等委員である取締役4名選任の件  
本件は原案のとおり承認可決され、監査等委員である取締役に奥山章雄、吉田和彦、成瀬健太郎、玉川越三の4氏が再選され、それぞれ就任いたしました。

以上

### 「四半期だより」廃止のお知らせ

毎年9月と3月にお届けしておりました「四半期だより」は、地球環境に配慮し、また、主要な情報は当社ウェブサイトにて開示していることから、第199期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)より発行を取りやめとさせていただきます。「中間・期末のご報告」につきましては、今後も発行させていただく予定です。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

### 株主のしおり

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当:毎年3月31日 中間配当:毎年9月30日
株主名簿管理人 (特別口座の 口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
ホームページ	<a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>

# nippon

株式会社ニッポン

〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目8番地 TEL.03-3511-5301(代表)

ホームページ <https://www.nippon.co.jp/>



FSC マーク  
入れてください